



## 2 主な施策の取組状況 関連施策



## (7) 消費拡大・安全対策の強化

農産物等の安全性の確保や地産地消の推進、食糧の安定供給など消費拡大・安全対策の強化を図っています。

### ①-1 農産物等の安全性の確保 ※トピックス(5)と関連

#### ○ 農産物直売所を対象としたGAP推進セミナーの開催

- 農業生産における環境保全や食品安全、労働安全等を確保するため、GAP(農業生産工程管理)の取組を推進しています。
- 令和3(2021)年度は、農産物直売所出荷者や開設者など58名を対象に、GAP推進セミナーを開催しました。
- これからも安全な農産物を消費者に提供できるよう、県全域でGAPの取組を推進していきます。



GAP推進セミナーの様子

(経営技術課)

#### ○ 農場HACCPの認証取得を推進

- 令和3(2021)年度に県内の2農場(肥育牛、採卵鶏)が新たに農場HACCPの認証を取得しました。
- 農場HACCPは、農場の飼養衛生管理にHACCPの考え方をとり入れて、生産される畜産物の安全性の確保及び生産性の向上を図るための手法で、令和4(2022)年3月現在、県内の16農場が認証を取得しています。
- 今後も取組農家への支援・指導を実施し、県産畜産物の更なる安心を確保します。



農場、関係者の検討会



認証の現場審査

(畜産振興課)

## (7) 消費拡大・安全対策の強化

農産物等の安全性の確保や地産地消の推進、食糧の安定供給など消費拡大・安全対策の強化を図っています。

### ①-2 農産物等の安全性の確保 ※トピックス(5)と関連

#### ○ 家畜伝染病発生に備えたグループ別防疫演習の実施と実践での対応(上都賀地域)

- 令和3(2021)年末、防疫作業の際に構成されるグループ(連絡調整、集合施設、焼埋却等)ごとに演習を実施、いつ、どこで、何をすべきか再確認を行いました。
- その直後、令和3(2021)年12月26日には、豚熱が発生した宮城県の農場から導入した豚を飼養する日光市の農場において、管内初の防疫措置を実施しました。直前に演習を行っていたこともあり、関係者間の情報伝達等も円滑に行われ、予定通り作業を完了しました。



演習(左)と実際の防疫作業(右)

(上都賀農業振興事務所)

#### ○ GAP推進による農業経営の持続的な発展(上都賀地域)

- 上都賀地域では、JA生産組織に対してGAPの農場点検を推進し、農産物の安全性、信頼性や環境保全、労働安全を確保する取組を実施しています。
- GAPの農場点検は、令和3(2021)年度までに延べ18組織で実施されました。
- また、令和3(2021)年度は鹿沼南高校がGAPに取り組み、ブルーベリーでとちぎGAPの第三者確認証を取得しました。



JA生産組織での農場点検デモ



とちぎGAP第三者確認証交付式(鹿沼南高校)

(上都賀農業振興事務所)

## (7) 消費拡大・安全対策の強化

農産物等の安全性の確保や地産地消の推進、食糧の安定供給など消費拡大・安全対策の強化を図っています。

### ①-3 農産物等の安全性の確保 ※トピックス(5)と関連

#### ○ 有事に備え、家畜防疫演習を開催（下都賀地域）

- 豚熱や高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病の発生に備え、防疫対応に万全を期すため、令和3(2021)年度は下野市国分寺聖武館で防疫演習を行いました。
- 市町や関係団体の約50名が参加し、豚熱の発生を想定した集合施設・防疫拠点の設置・運営訓練の他、防護服の着脱や消毒の手順など防疫作業について確認しました。
- 今後も、防疫演習を通じ、有事の際に的確かつ迅速な対応ができるよう備えます。



防疫拠点での演習の様子  
(下都賀農業振興事務所)



## (7) 消費拡大・安全対策の強化

農産物等の安全性の確保や地産地消の推進、食糧の安定供給など消費拡大・安全対策の強化を図っています。

### ②-1 食と農の理解促進と県産農産物の利用拡大

#### ○ 若い世代(大学生)への食育

- 教育や栄養指導等に関わる目指す大学生を対象に、食育講座や農業体験を行い、食と農への理解促進を図りました。
- 講話後には、食を巡る課題を踏まえ、学生同士のグループワークを通して、どのように食育に関わっていきたいかなどを話し合いました。
- 参加者からは、「食と農の関係について考えるきっかけとなった」「将来、食の大切さを伝えていきたい」などの感想があげられました。



いちご農家での農業体験



学生同士のグループワーク

(農政課)

#### ○ 県内小中学生向け地産地消動画の作成

- とちぎ地産地消県民運動実行委員会では、児童生徒に農業の大切さや魅力を伝える動画「すごいぞ!!とちぎの農業」を作成し、DVDを県内の全小中学校に配布しました。
- 動画は、本県の主要な農産物の生産風景、県内で活躍する生産者からのメッセージなどで構成されています。
- 子どもたちの給食の時間等における動画視聴を通し、農業への理解促進を図ります。



小中学校に配布したDVD



給食の時間に動画を視聴する児童たち

(農政課)

# (7) 消費拡大・安全対策の強化

農産物等の安全性の確保や地産地消の推進、食糧の安定供給など消費拡大・安全対策の強化を図っています。

## ②-2 食と農の理解促進と県産農産物の利用拡大

### ○ 県産米の消費拡大

- ・ 県民にお米の良さを知ってもらい、ごはんを食べる機会を増やしていくため、毎月「5」と「8」の付く日を「栃木県民ごはんの日」として運動を展開しています。
- ・ インターネット動画やとちぎ未来大使による情報発信、県内量販店での消費拡大キャンペーンに加え、国体等を目指す未来アスリートへのパックごはん贈呈など、県産米の美味しさと、ごはん食の良さを伝えるJA全農とちぎの取組を支援しました。



パックごはん贈呈式(11月28日)



消費拡大キャンペーンの実施

(生産振興課)

### ○ “六次郎”(6次産業化商品)販売会(河内地域)

- ・ 「六次郎」とは、河内地域で農業の6次産業化に取り組む農業者が開発した商品の愛称です。
- ・ 令和3(2021)年度が5年度目となる宇都宮東武百貨店での「六次郎販売会」は、新たに2農業者が参加し、消費者の生の意見を聞く貴重な機会となりました。



接客やPRの実践



人気の六次郎商品

(河内農業振興事務所)

# (7) 消費拡大・安全対策の強化

農産物等の安全性の確保や地産地消の推進、食糧の安定供給など消費拡大・安全対策の強化を図っています。

## ②-3 食と農の理解促進と県産農産物の利用拡大

### ○ 文星芸術大学と連携した商品づくり(河内地域)

- 「六次郎」を始めとする河内地域の6次産業化商品の洗練されたデザインは、文星芸術大学との連携により実現しています。
- 河内農業振興事務所は、同大学の協力により「ラベルパッケージデザイン研修会」を年2回開催し、毎回5名程度の農業者が新商品の開発を行っています。



デザイン作成例



デザイン研修会の様子

(河内農業振興事務所)

### ○ さといもメニューフェア開催(上都賀地域)

- 上都賀地域(鹿沼市・日光市)は県内一の“さといも”産地です。
- その“さといも”の魅力を発信するため、新たに「さといもメニューフェア」を開催しました。
- 日光例幣使そば街道加盟店や地産地消推進店など18店舗等でこだわりの“さといも”メニューが提供され、生産者と飲食店等が連携したPRの展開により、“さといも”の魅力発信及び消費拡大につながっています。



「さといもメニューフェア」



多彩なさといもメニュー

(上都賀農業振興事務所)

## (7) 消費拡大・安全対策の強化

農産物等の安全性の確保や地産地消の推進、食糧の安定供給など消費拡大・安全対策の強化を図っています。

### ③-1 食料の安定供給 ※トピックス(4)と関連

#### ○ 高精度な生育予想技術開発をスタート

- 気候変動に対応するため、水稻と梨の生育予測技術の精度向上と新たな被害発生予測技術の開発・実証に着手しました。
- 調査圃場ごとに気象データを測定し、アメダスデータとの比較や、生育データとの関係を再検討し、精度向上を図ります。
- このことで、気候変動に対する迅速な技術対応が可能になり、収量・品質の更なる安定化が期待されます。



圃場における気象データ測定の状況（左：梨、右：水稻）  
（経営技術課）

#### ○ 牧草のセシウム低減試験の取組

- 畜産酪農研究センターでは、安全・安心な畜産物を生産するため、平成23(2011)年から飼料作物への放射性セシウム移行抑制技術の開発に取り組んできました。
- 最近の試験では、草地更新回数を増やすことで放射性セシウムの土壌から牧草への移行を減らせることが確認できました。
- 今後は、加里施肥による牧草のミネラルバランスなどについて研究を進めていきます。



試験ほ場での作業風景



試験ほ場追播の様子

（畜産酪農研究センター）

# (7) 消費拡大・安全対策の強化

農産物等の安全性の確保や地産地消の推進、食糧の安定供給など消費拡大・安全対策の強化を図っています。

## ③-2 食料の安定供給 ※トピックス(4)と関連

### ○ 「農業水利施設保全管理システム」の公開で適切な保全管理を促進

- 「農業水利施設保全管理システム」には、取水堰や排水機場、ため池などの農業水利施設の位置や補修履歴等がデータベース化されています。
- 施設の適切な保全管理に加え、突発事故や災害時の迅速な対策に役立てるため、令和3(2021)年5月からウェブ上で公開しています。



農業水利施設保全管理システムのQRコード



農業水利施設保全管理システムの画面イメージ

(農地整備課)

